

# 13. リヤホイール、サスペンション

作業上の注意	13-1	リヤクッション	13-11
故障診断	13-2	スイングアーム	13-12
リヤホイール	13-3		

## 作業上の注意

### ▲注意

ブレーキ性能を失うため、ディスクやパッドに油脂類を付着させないこと。万一、付着した場合は、パッドを交換し、ディスクを脱脂すること。

- ・リヤホイール、サスペンションの整備を行う場合は、車体を確実に支え、リヤホイールを浮かして作業すること。
- ・ホイール脱着後、ブレーキペダルを操作しないこと。
- ・ブレーキ装置の整備、点検は14章を参照する。
- ・スポークの上に乗ったり、無理な力がホイールにかかるないようにすること。また、ホイールを傷付けないように取り扱うこと。
- ・リムからタイヤを脱着するときには、リムの損傷を避けるため、専用の「タイヤレバー」と「リムプロテクタ」を使用すること。

## 整備基準

単位：mm

項目		標準		使用限度
リヤホイール	アクスルの曲がり			0.2
	リムの振れ	縦方向		2.0
		横方向		2.0
	タイヤ	残り構		2.0
		空気圧	一名乗車 一般	225 kPa (2.25 kgf/cm <sup>2</sup> )
			高速	225 kPa (2.25 kgf/cm <sup>2</sup> )
		二名乗車	一般	225 kPa (2.25 kgf/cm <sup>2</sup> )
ドライブチェーン	遊び	30-40		
	サイズ／リンク	RK	525SM5/114LE	
		DID	525V8/114LE	
ドライブチェーンスライダの厚さ				摩耗限界マークまで

13

## 締め付けトルク

リヤアクスルナット	88 N·m (9.0 kgf-m)
リヤブレーキディスクボルト	42 N·m (4.3 kgf-m) ねじ部にネジロック剤塗布
ドリブンスプロケットナット	64 N·m (6.5 kgf-m)
スパークニップル	4.2 N·m (0.42 kgf-m)
リヤブレーキホースクランプボルト	12 N·m (1.2 kgf-m) アロックボルト
スイングアームピボットナット	88 N·m (9.0 kgf-m)
スイングアームピボットアジャストボルト	24 N·m (2.4 kgf-m)
スイングアームピボットロックナット	64 N·m (6.5 kgf-m)
ドライブチェーンスライダスクリュ	2.5 N·m (0.25 kgf-m)
ロアドライブチェーンスライダボルト	9 N·m (0.9 kgf-m)
ドライブチェーンアジャスタロックナット	21 N·m (2.1 kgf-m)
リヤクツションボルト (アッパ)	26 N·m (2.7 kgf-m)
(ロア)	36 N·m (3.7 kgf-m)

## 専用工具

ニップルレンチ	07JMA-MR60100
ペアリングリムーバシャフト	07746-0050100
ペアリングリムーバヘッド、17 mm	07746-0050500
ロックナットレンチ	07GMA-KT70200
ペアリングリムーバセット	07946-MJ00000
ードライバシャフト	07946-MJ00100
ードライバヘッド	07946-MJ00200
ドライバハンドルA	07749-0010000
アウタドライバ、32×35 mm	07746-0010100
アウタドライバ、42×47 mm	07746-0010300
パイロット、15 mm	07746-0040300
パイロット、17 mm	07746-0040400
パイロット、20 mm	07746-0040500
パイロット、22 mm	07746-0041000

## 故障診断

### 後輪の振れ

- ホイールリムの変形
- ホイールペアリングの損傷
- タイヤの不良
- ホイールバランスが不適正
- リヤアクスルの締め付け不良
- タイヤの空気圧が低い

### ホイールの回転が重い

- ホイールペアリングの不良
- リヤアクスルの曲がり
- ブレーキの引きずり (⇒ 14章)

### リヤサスペンションが柔らかい

- クッションスプリングのへたり
- リヤクッションダンパーの不良
- リヤクッションアジャスタの調整不良
- タイヤ空気圧が低い

### リヤサスペンションが硬い

- リヤクッションダンパロッドの曲がり
- タイヤ空気圧が高い
- リヤクッションアジャスタの調整不良
- スイングアームピボット部、摺動部の不良、油切れ

### リヤサスペンションの異音

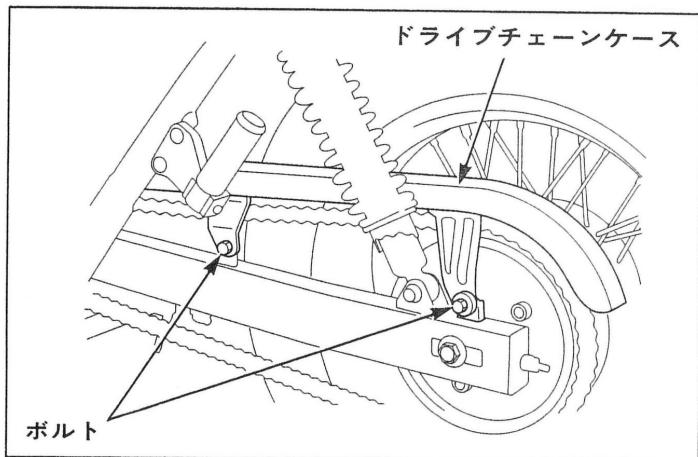
- リヤクッションのせり
- リヤサスペンション締め付け各部のゆるみ

## リヤホイール

### 取り外し

ボルトを外し、ドライブチェーンケースを取り外す。

車体を確実に支え、リヤホイールを浮かす。



ドライブチェーンアジャスタロックナットとアジャストナットをゆるめる。

リヤアクスルナットを取り外す。

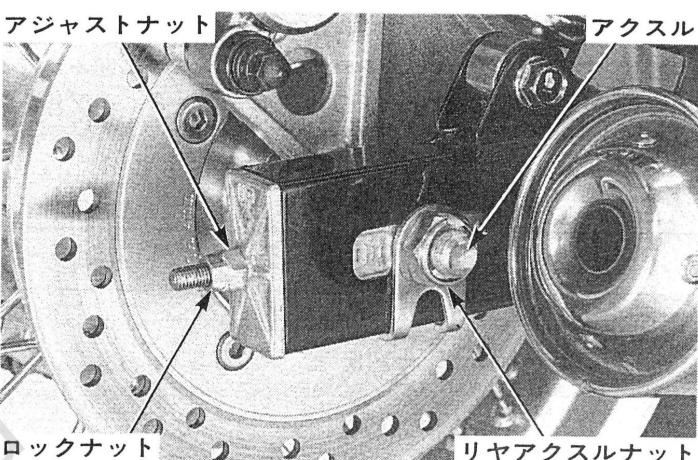
リヤホイールを前方に動かし、ドライブチェーンの遊びを最大にする。

ドリブンスプロケットからドライブチェーンを取り外す。

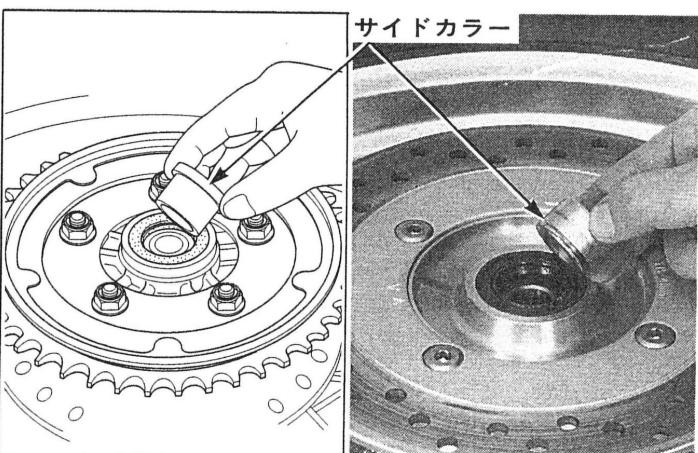
アクスルシャフトを抜き、リヤホイールを取り外す。

#### \*注意

- ・リヤホイールを取り外した後、ブレーキペダルを操作しないこと。
- ・ブレーキキャリパをブレーキホースで吊り下げないこと。



サイドカラーを取り外す。



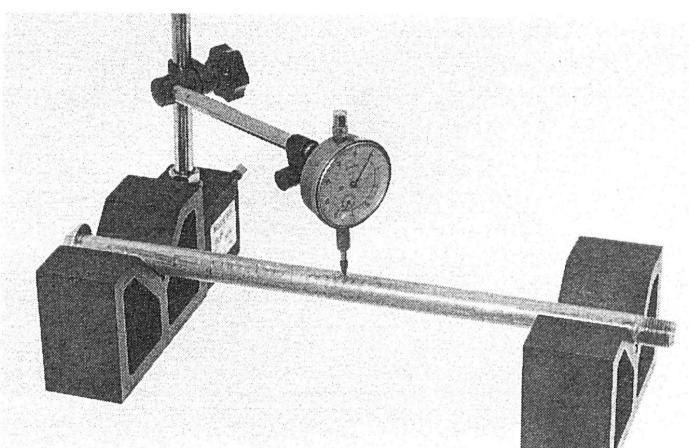
### 点検

#### アクスルシャフト

アクスルシャフトをV-ブロックで支え、ダイヤルゲージでアクスルシャフトの曲がりを測定する。

使用限度：0.2 mm

曲がりは測定値（振れ）の1/2である。



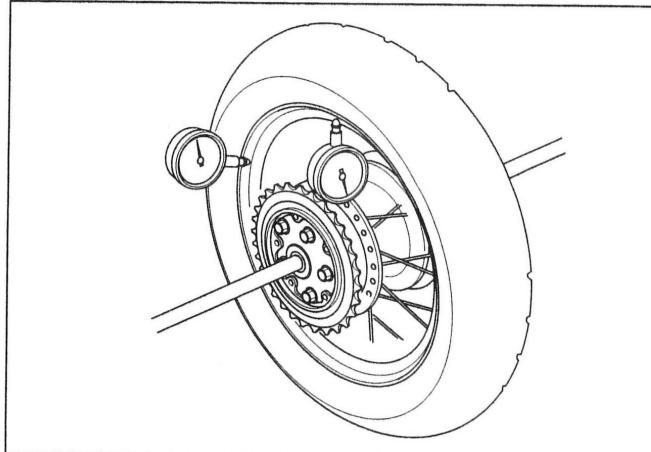
# リヤホイール、サスペンション

## ホイール

ホイールをゆっくり回し、ダイヤルゲージでホイールリムの振れを点検する。

使用限度：縦方向：2.0 mm  
横方向：2.0 mm

リムに局部的な変形のあるものは交換する。  
スポークのゆるみ、曲がり、損傷を点検する。

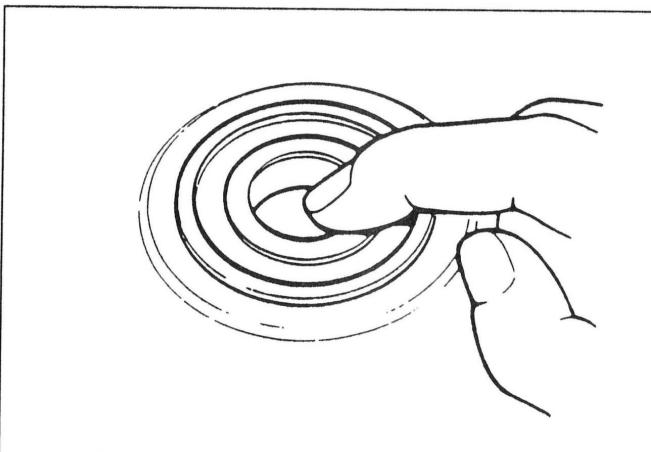


## ホイールベアリング

ベアリングのインナーレースを指で回し、滑らかに回るかを点検する。滑らかに回らない、またはアウターレースとハブにガタ、損傷のあるものは新品に交換する。

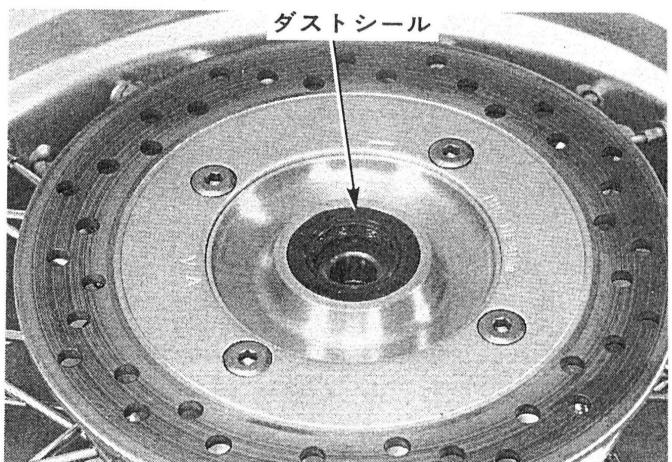
### 注意

ベアリングは必ず左右セットで交換する。

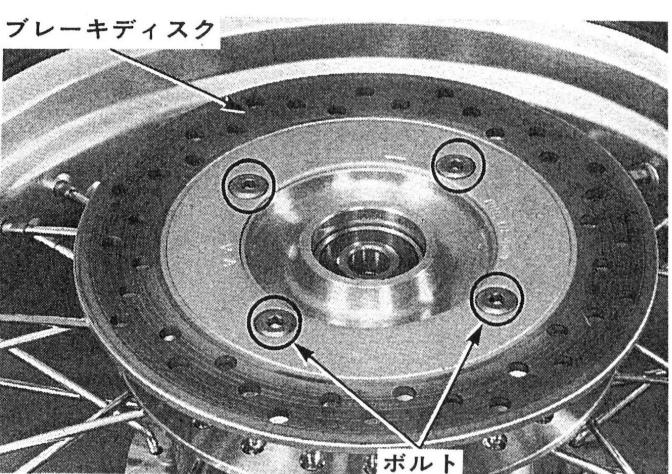


## 分解

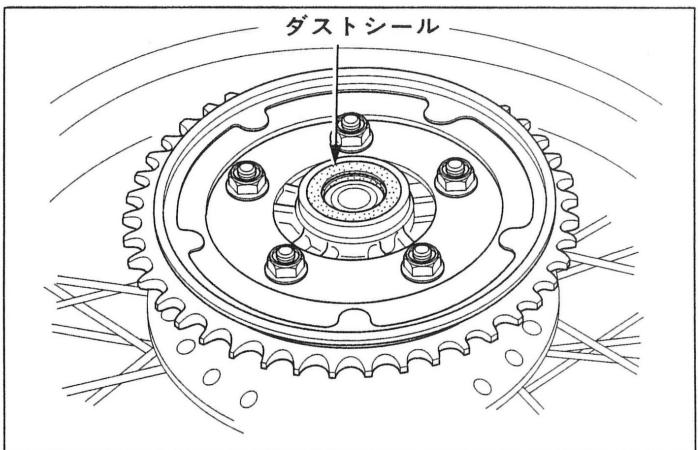
ダストシールを取り外す。



ボルトを外し、ブレーキディスクを取り外す。



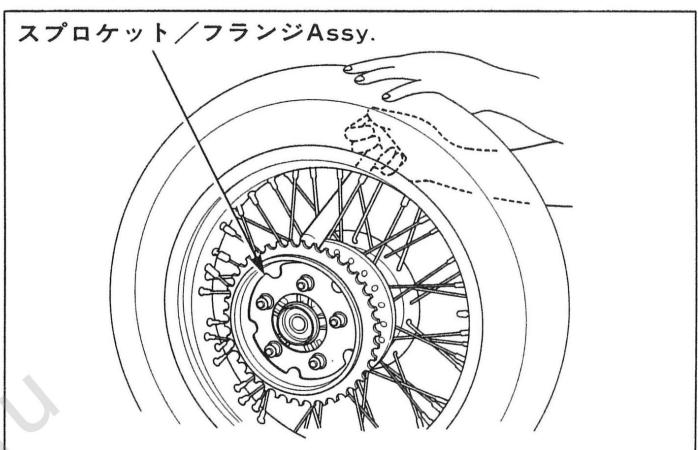
ストシールを取り外す。



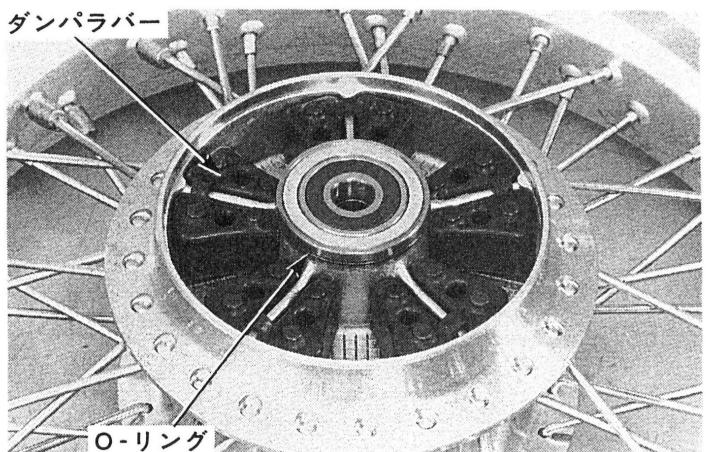
アイナルドリブンスプロケットとドリブンフランジをAssy.で  
り外す。

**注意**

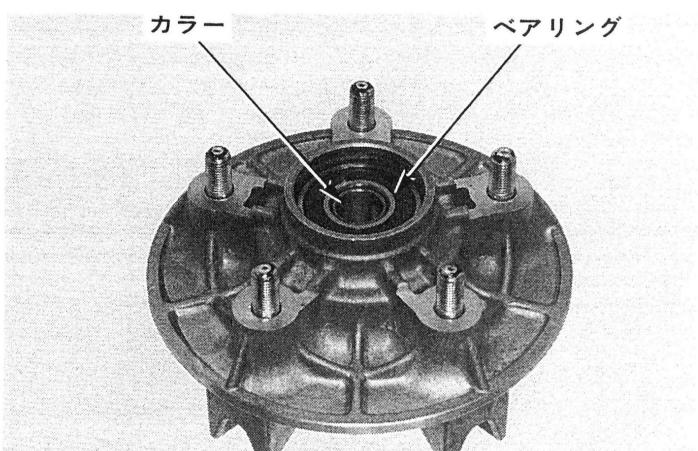
ドリブンスプロケットまたはドリブンフランジを交換ある  
いは修理する場合以外は、スプロケットとフランジを分離  
しないこと。



ダンパラバーを取り外す。  
リングを取り外す。



リブンフランジベアリングの取り外し  
ラーをはずし、ドリブンフランジベアリングを取り外す。



# リヤホイール、サスペンション

## ホイールベアリングの取り外し

リムーバヘッドをベアリングに取り付ける。

反対側からリムーバシャフトをリムーバヘッドに取り付けて打ち込み、ベアリングを取り外す。

ディスタンスカラーを取り外し、もう一方のベアリングも同様に取り外す。

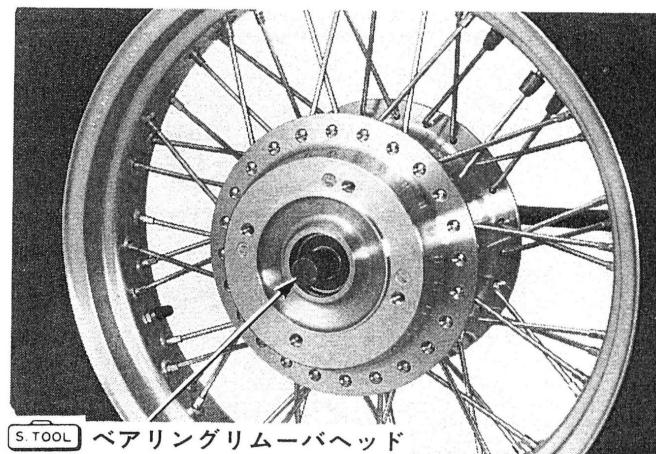
### 専用工具：

ベアリングリムーバシャフト 07746-0050100

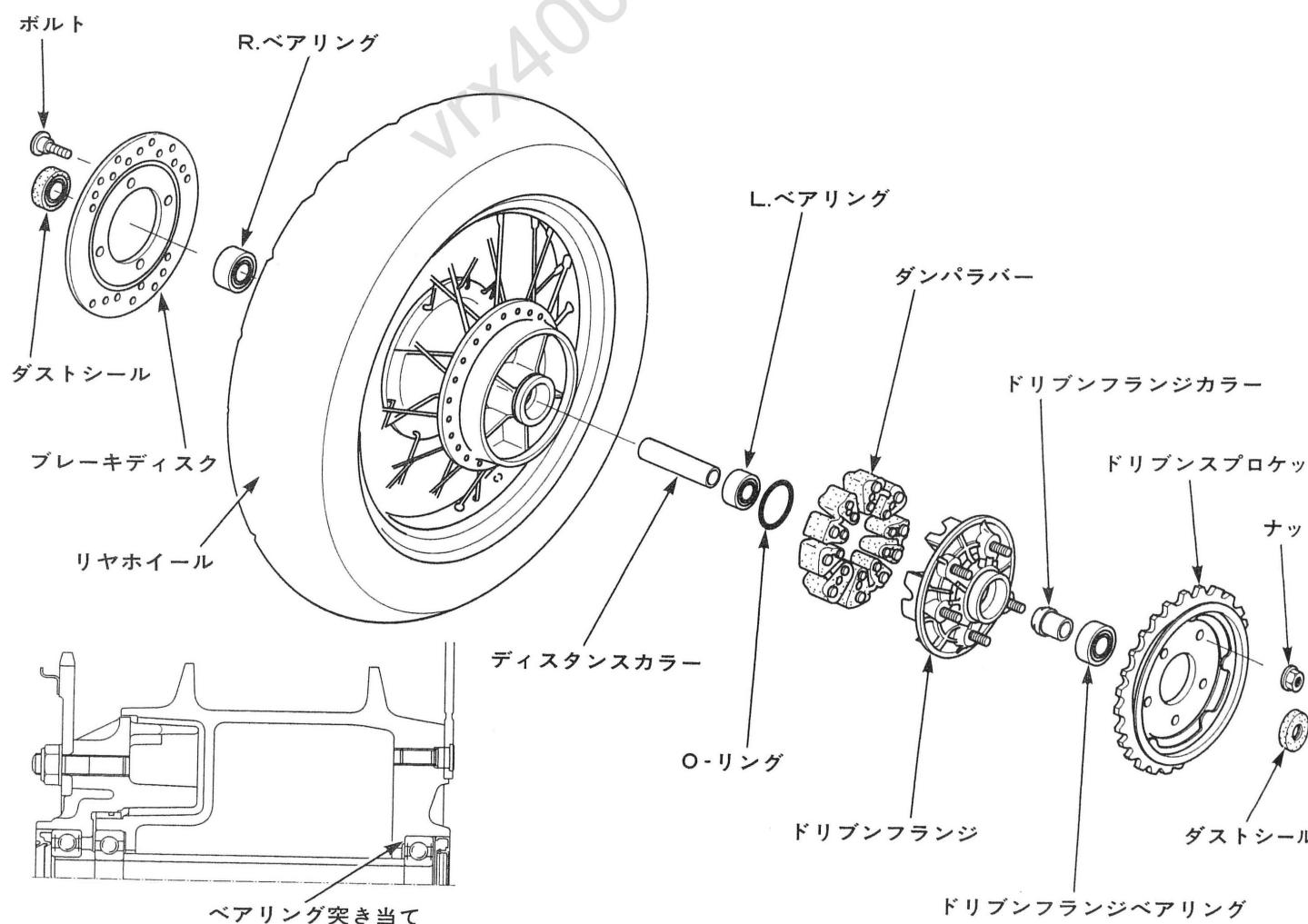
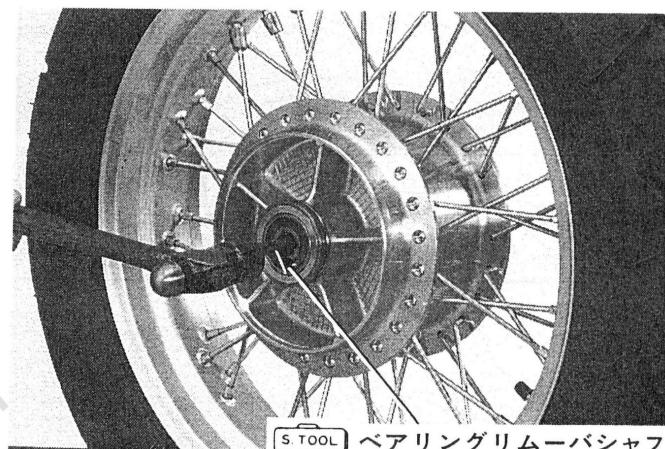
ベアリングリムーバヘッド、17 mm 07746-0050500

### 注意

ベアリングは必ずセットで交換し、取り外したベアリングは再使用しないこと。



## 組み立て



**ホイールベアリングの打ち込み**

新品のベアリングの刻印側を上に向け、先にホイールハブ右側からベアリングをハブに突き当たるまでまっすぐに打ち込む。ディスタンスカラーを取り付ける。同様に、新品のベアリングを左側からディスタンスカラーに突き当たるまで打ち込む。

**専用工具：**

ドライバハンドルA	07749-0010000
アウタードライバ、42×47 mm	07746-0010300
パイロット、17 mm	07746-0040400

ホイールを分解した場合は、以下の要領で組み立てる。

スポークニップルのねじ部を清掃する。

スポークニップルを均等に締め込み、ハブのR.ベアリングハウジング端面とリムの横断面との距離を調整し、同時にリムの振れを基準値以下にする。

リムとハブの標準距離：29.8 ± 1 mm

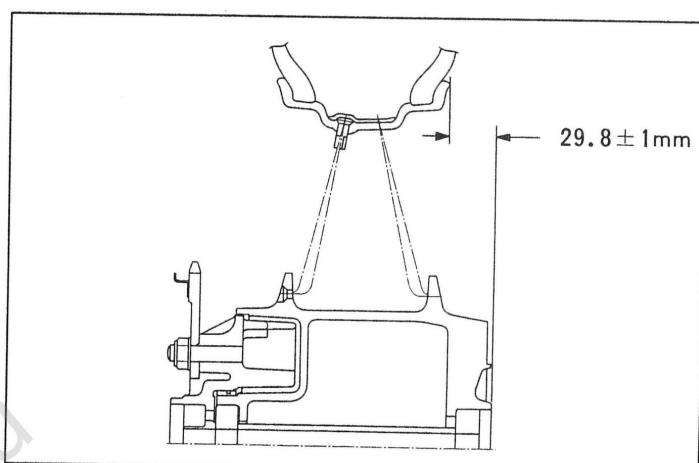
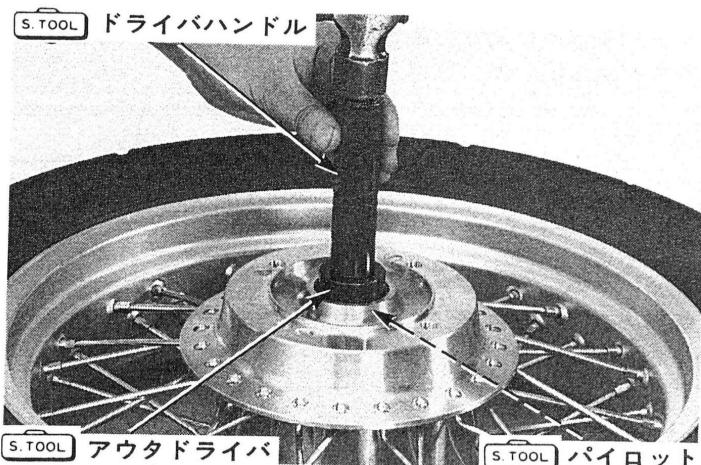
リムの振れ：縦方向；2.0 mm  
横方向：2.0 mm

スポークニップルを2-3回に分けて均等に締め付ける。

**専用工具：**

スポークニップルレンチ	07JMA-MR60100
-------------	---------------

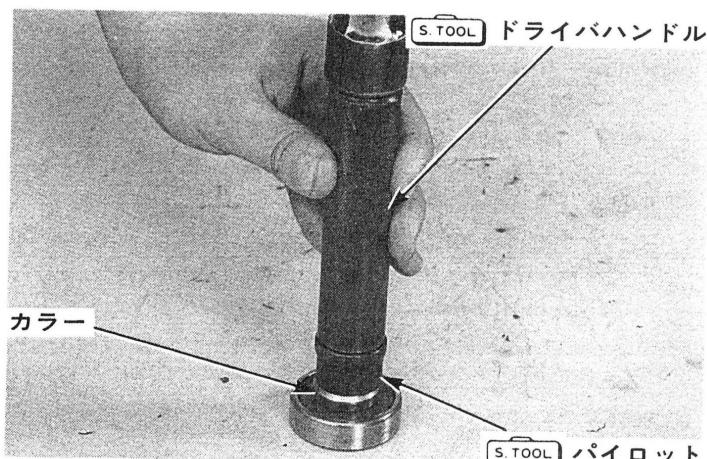
トルク：4.2 N·m (0.42 kgf-m)

**ドリブンフランジベアリングの打ち込み**

新品のベアリングの刻印側を下に向け、水平な面に置いて、ドリブンフランジベアリングカラーを打ち込む。

**専用工具：**

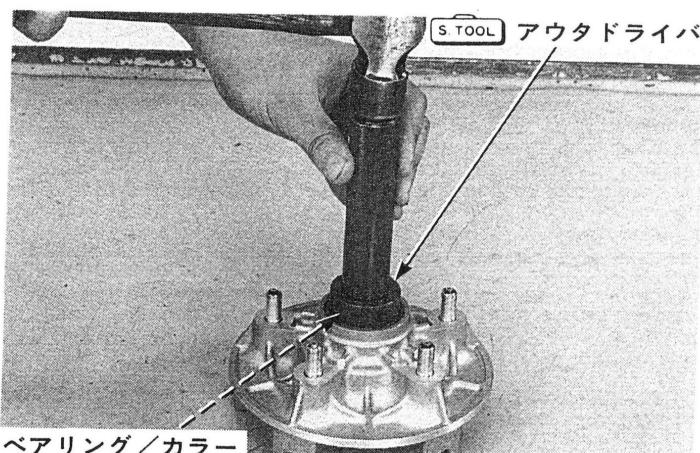
ドライバハンドルA	07749-0010000
パイロット、20 mm	07746-0040500



ドリブンフランジベアリング／カラーをドリブンフランジに突き当たるまで打ち込む。

**専用工具：**

ドライバハンドルA	07749-0010000
アウタードライバ、42×47 mm	07746-0010300



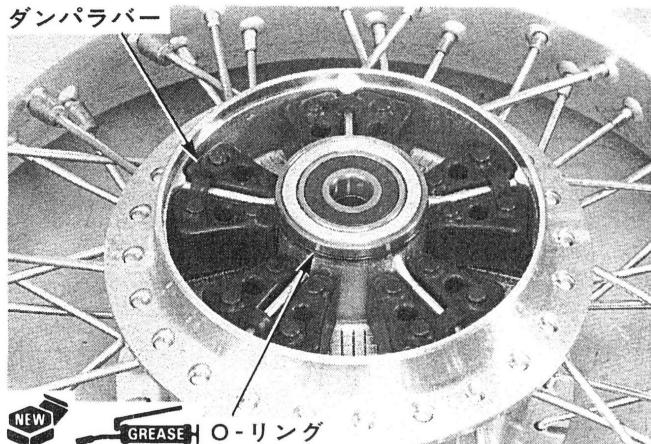
# リヤホイール、サスペンション

ダンパラバーに劣化、損傷がないことを確認する。  
異常がある場合は、新品に交換する。

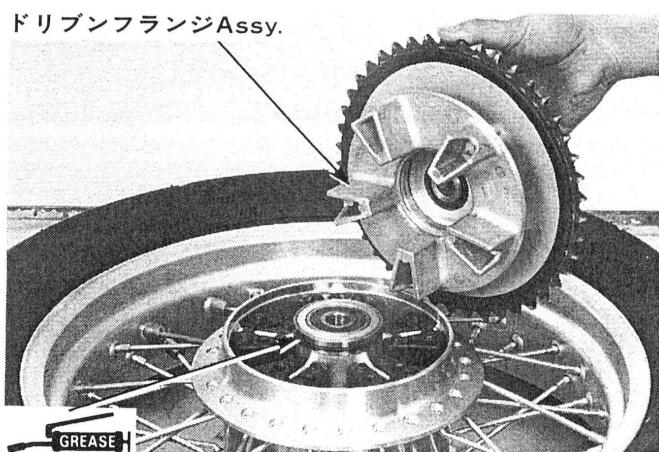
## \*注意

ダンパラバーは必ずセットで交換すること。

ダンパラバーをホイールハブに取り付ける。  
新品のO-リングにグリスを塗布し、ホイールハブの溝に取り付ける。

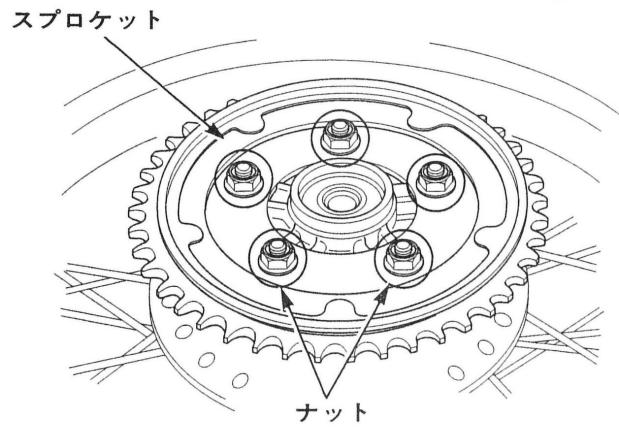


ドリブンフランジとホイールハブの摺動部にグリスを塗布し、  
ドリブンフランジAssy.をホイールに取り付ける。



ドリブンスプロケットを外した場合は、スプロケット、ナット  
を取り付け、ナットを締め付ける。

トルク：64 N・m (6.5 kgf-m)



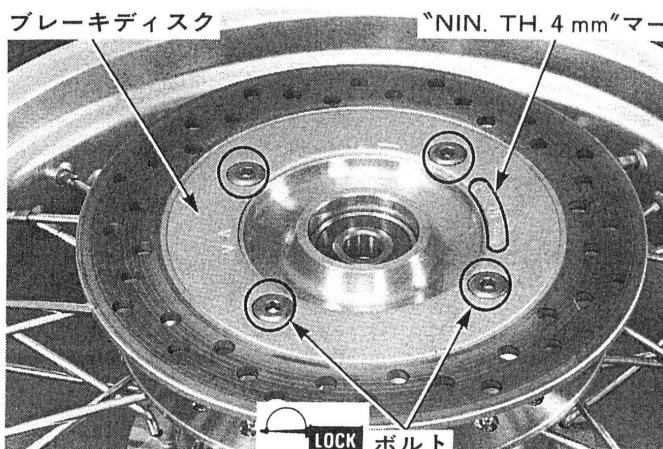
“MIN. TH. 4mm”マークのある側を外側に向けリヤブレー  
キディスクを取り付ける。

## ⚠ 注意

ブレーキ性能を失うため、ディスクに油脂類を付着させな  
いこと。

リヤブレーキディスクボルトのねじ部にネジロック材を塗布  
し、規定トルクで締め付ける。

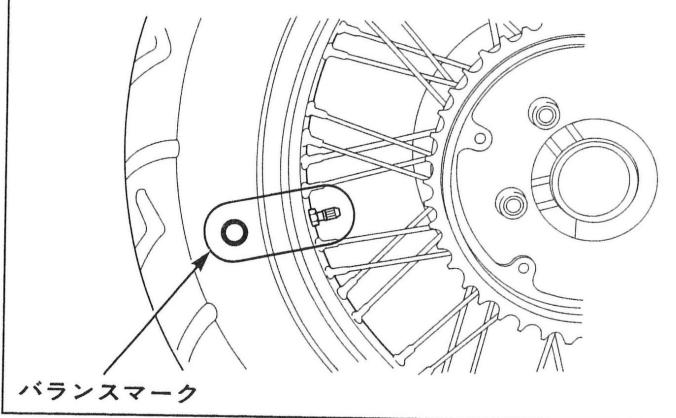
トルク：42 N・m (4.3 kgf-m)



## ホイールバランス

## △注意

- ・ホイールのバランスは車両の安定性、ハンドル操作、全体的な安全性に直接影響を与える。タイヤをホイールから取り外した場合は必ずホイールバランスを点検すること。
- ・タイヤのバランスマーク（サイドウォールの塗装点）がバルブに合っていることを確認する。

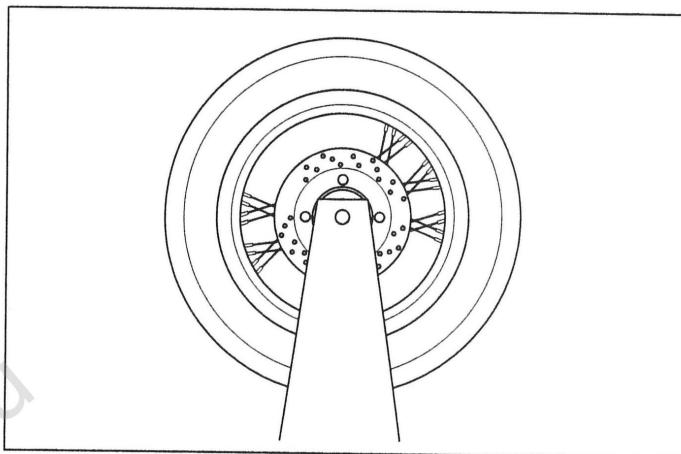


点検スタンドにタイヤ／ホイール／ブレーキディスク／ドリブンフランジAssy.を取り付ける。

以下の手順で点検を行う。

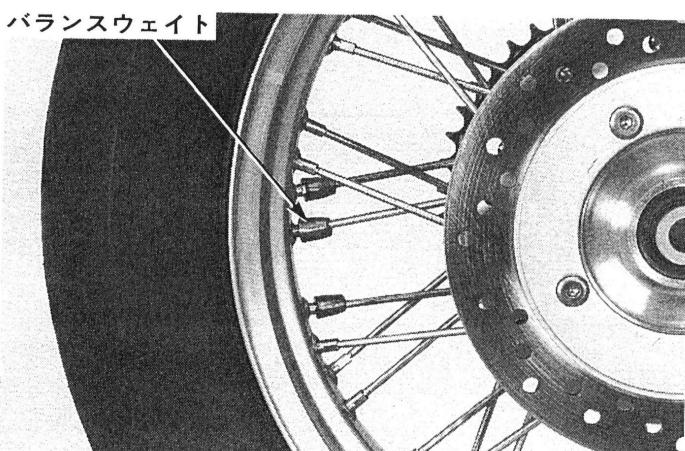
1. ホイールを回転させて自然に停止させた時、リム円周上の最も低い（最も重い）位置にチョークなどでマークを付ける。この作業を2、3回繰り返し、最も重い部分を確かめる。毎回同じ所で停止しない場合はホイールバランスが適正であると判断する。
2. リム円周上の最も高い位置（マークを付けた反対側）に軽い箇所の順にバランスウェイトを仮付けし、1の作業を行う。

以上を繰り返して適正なウエイト量を確認した後。ウエイトを確実に取り付ける。

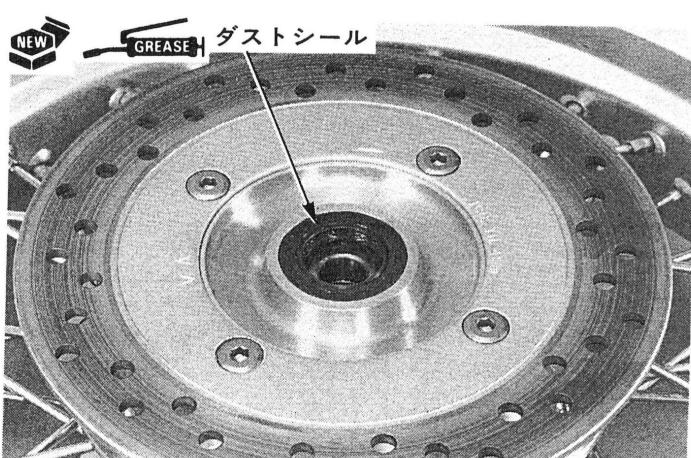


## ★注意

ウエイト量は60gを越えないこと。



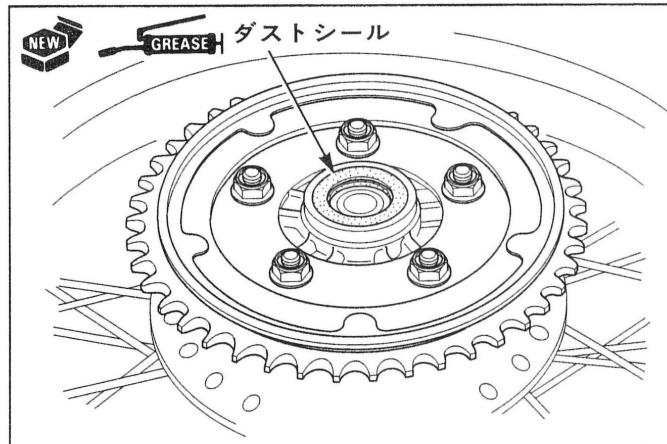
3. ダストシールのリップ部にグリスを塗布する。
4. ダストシールを取り付ける。



# リヤホイール、サスペンション

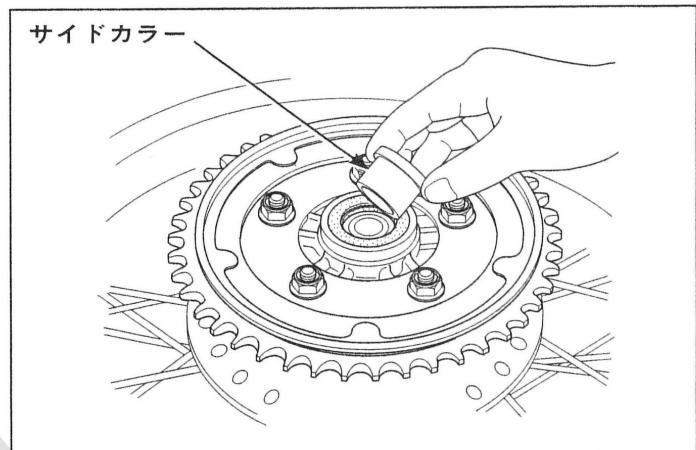
L.ダストシールのリップ部にグリスを塗布する。

L.ダストシールを取り付ける。

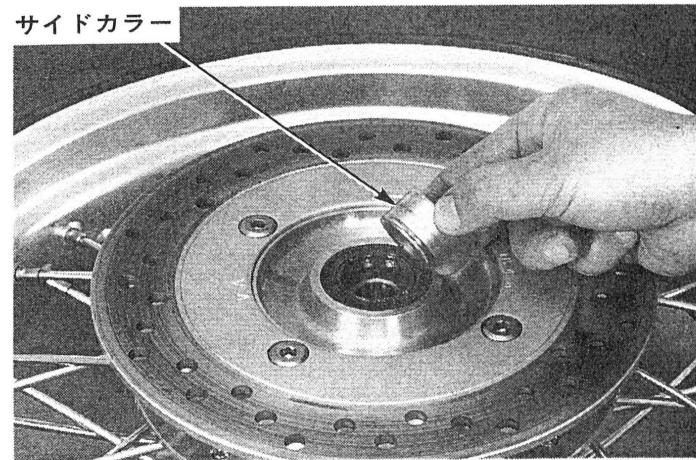


## 取り付け

L.ホイールカラーを取り付ける。



R.ホイールカラーを取り付ける。



リヤキャリパープラケットのスライドレールをスイングアームの凸部に合わせる。

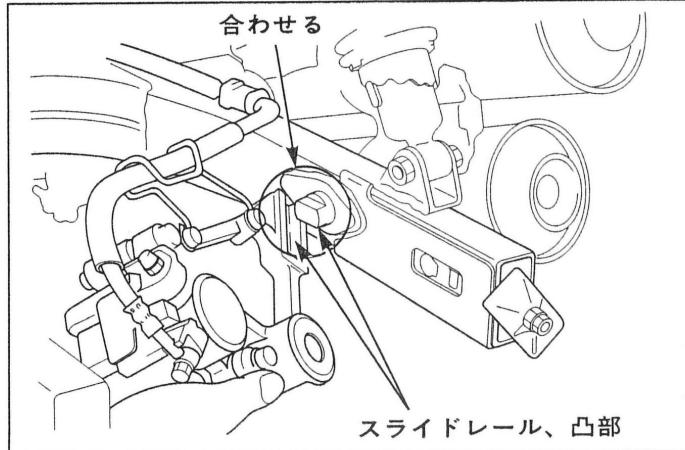
ブレーキパッドの間にブレーキディスクを合わせ、リヤホイールをスイングアームの間にセットする。

### ⚠ 注意

ブレーキパッドを損傷しないように注意する。

リヤアクスルを取り付ける。

ドライブスプロケットにドライブチェーンを取り付ける。

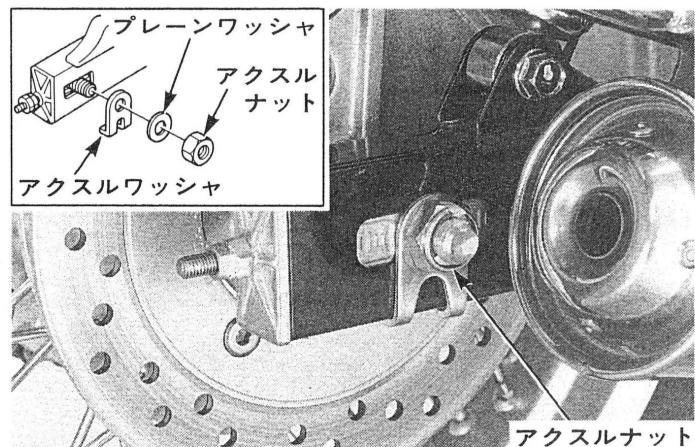


アクスルワッシャ、プレーンワッシャ、アクスルナットを取り付ける。

ドライブチェーンの遊びを調整する。 (⇒3-10)

リヤアクスルナットを規定トルクで締め付ける。

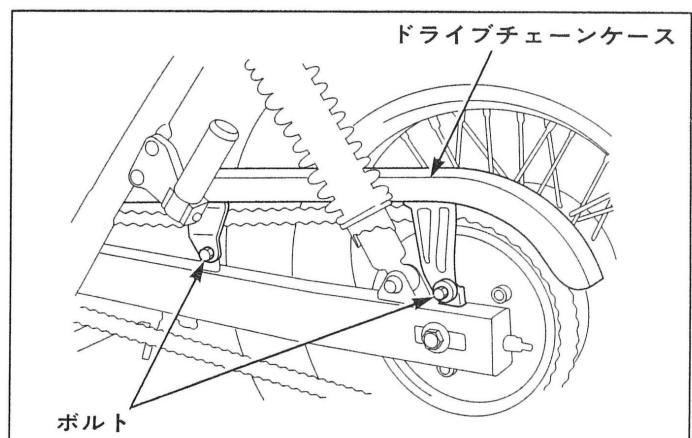
トルク： 88 N·m (9.0 kgf-m)



ドライブチェーンケースの溝とスイングアームの突起を合わせて取り付ける。



ドライブチェーンケースボルトを取り付け、締め付ける。

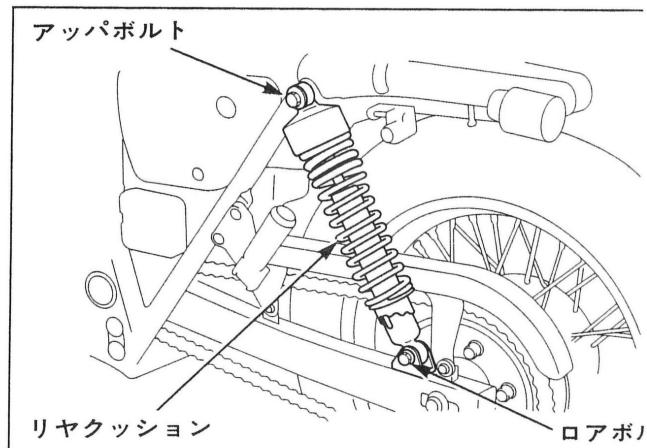


## リヤクッション

### 取り外し

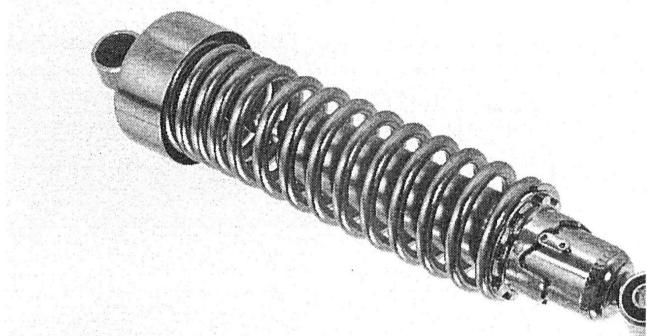
車体を確実に支え、リヤホイールを浮かす。

アップ、ロアマウントボルトを外し、リヤクッションを取り外す。



### 点検

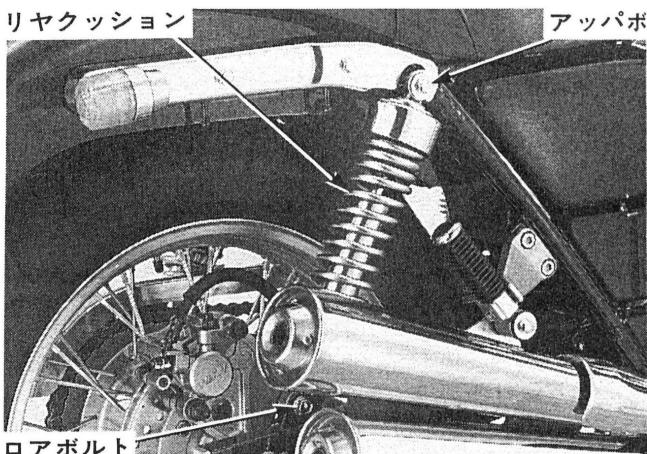
ダンパユニットのオイル漏れ、ロッドの曲がり、ストッパラーの劣化、損傷を点検し、異常がある場合は交換する。



### 取り付け

リヤクッションを取り付け、アップ、ロアマウントボルトを締め付ける。

トルク：アップ：26 N・m(2.7 kgf-m)  
ロア：36 N・m(3.7 kgf-m)

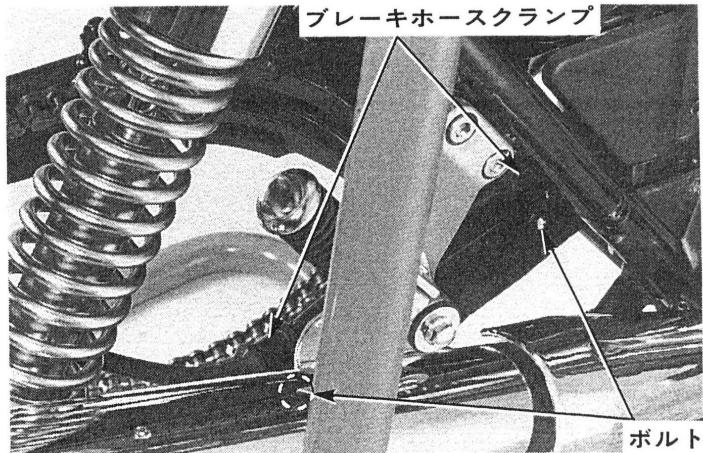


## スイングアーム

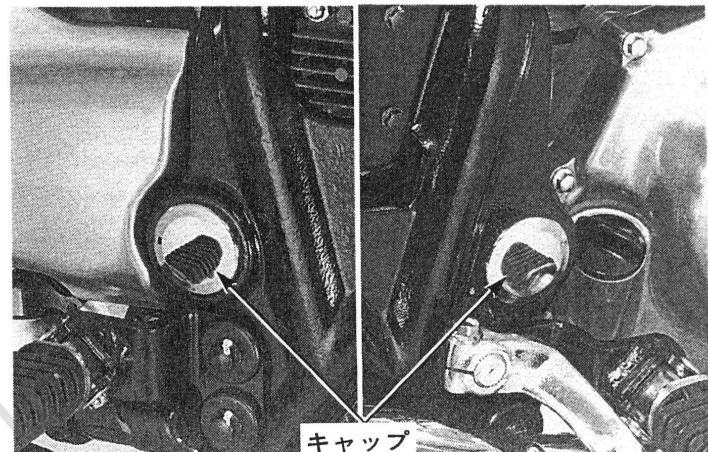
### 取り外し

以下の部品を取り外す。

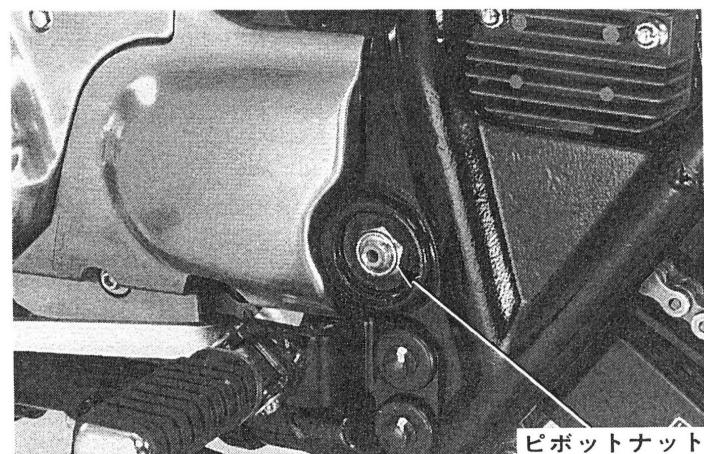
- リヤホイール ( $\Rightarrow$ 13-3)
- リヤブレーキホースクランプ
- リヤクッション ( $\Rightarrow$ 13-3)



スイングアームピボットキャップを取り外す。



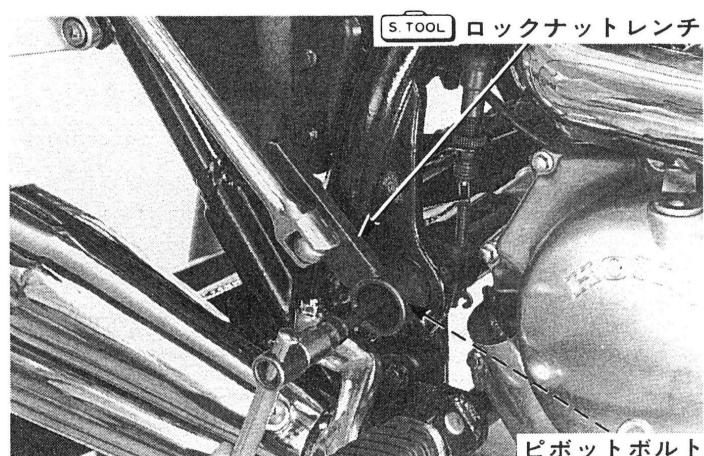
スイングアームピボットナットを取り外す。



スイングアームピボットボルトをおさえ、下記の工具を使用してアジャストボルトルックナットをゆるめる。

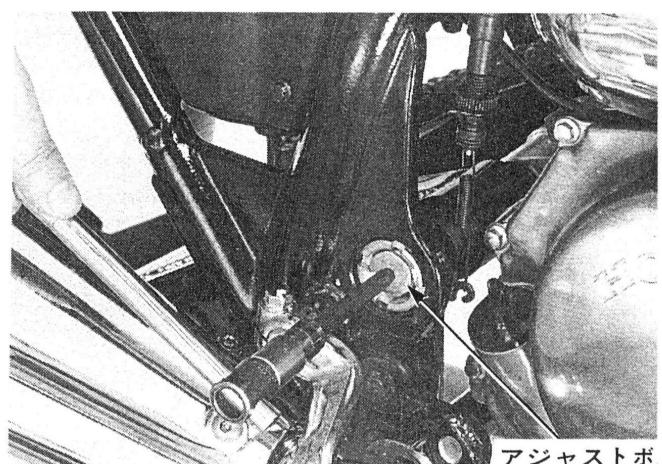
**専用工具：**  
ロックナットレンチ

07GMA-KT70200



スイングアームピボットボルトを回してアジャストボルトをゆるめる。

スイングアームピボットボルトを外し、スイングアームを取り外す。

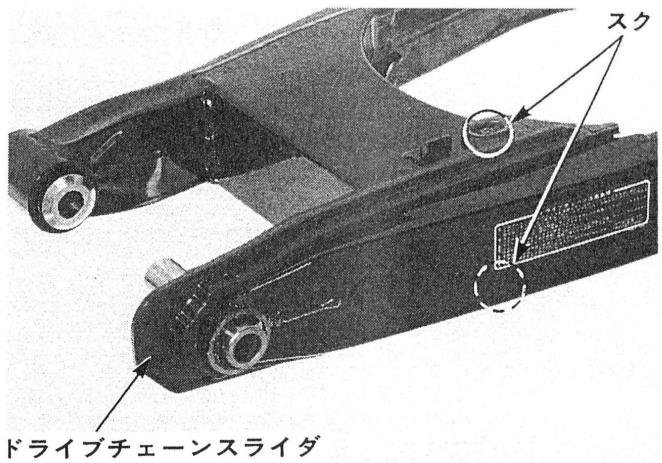


アジャストボルト

## 分解

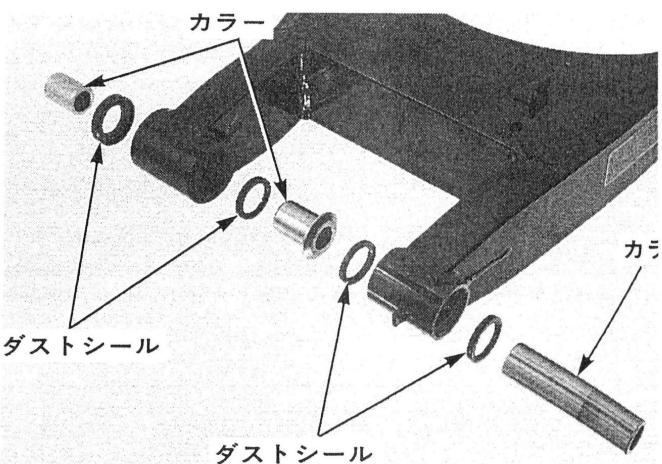
ドライブチェーンスライダスクリュを外し、チェーンスライダを取り外す。

チェーンスライダが損傷、摩耗している場合は、交換する。



ドライブチェーンスライダ

ピボットカラー、ダストシールを取り外す。



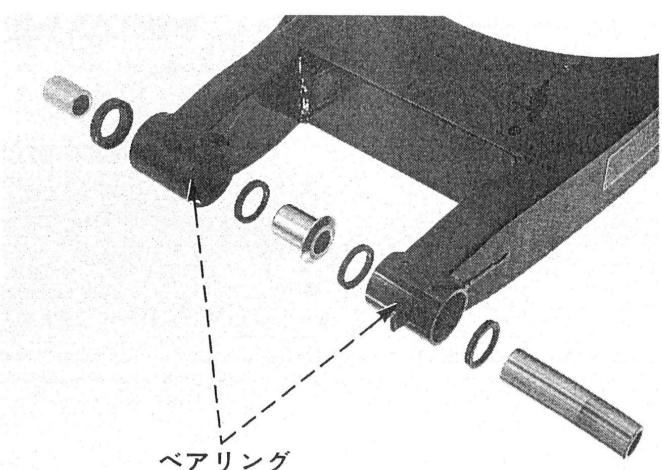
ダストシール

ダストシール

## 点検

ダストシールの劣化、損傷を点検し、異常がある場合は交換する。

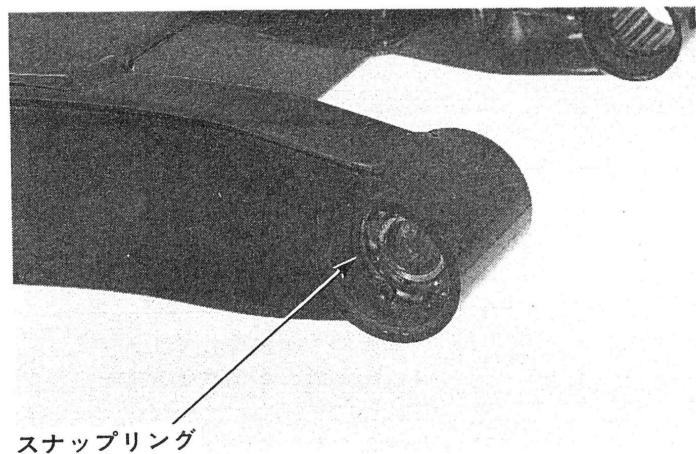
ピボットカラー、スイングアーム、ピボットベアリングの損傷を点検し、異常がある場合は交換する。



ベアリング

## ピボットベアリングの交換

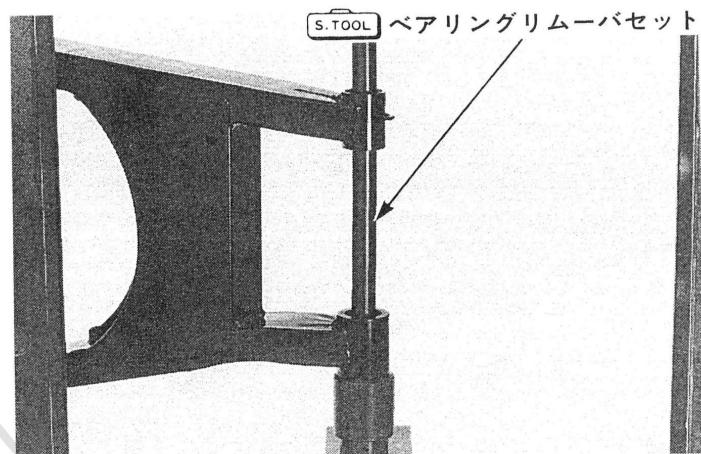
スイングアームピボット右側からスナップリングを取り外す。



下記の工具と圧力プレスを使用して、ボールベアリングをスイングアームから取り外す。

**専用工具：**  
ベアリングリムーバセット

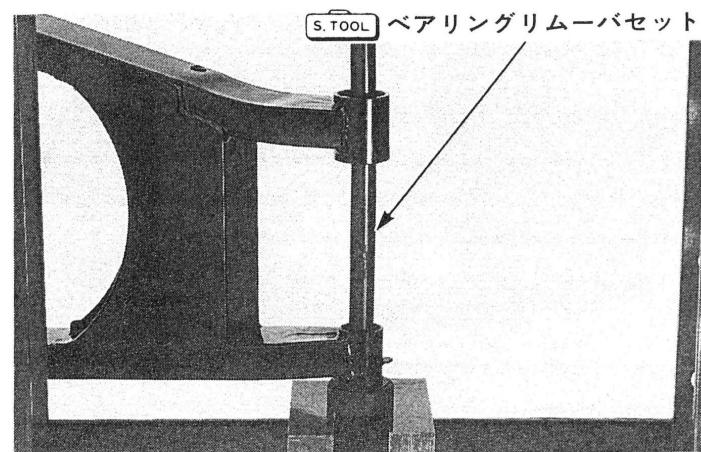
07946-MJ00000



下記の工具と油圧プレスを使用して、ニードルベアリングをスイングアームから取り外す。

**専用工具：**  
ベアリングリムーバセット

07946-MJ00000



下記の工具と油圧プレスを使用して、新品のニードルベアリングをスイングアームに圧入する。

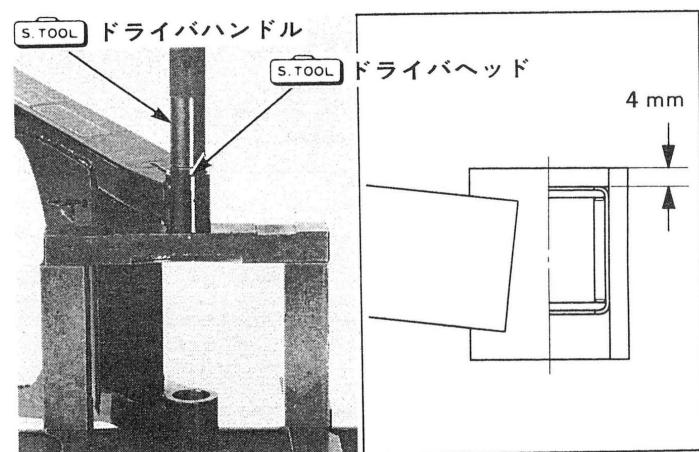
**専用工具：**  
ドライバハンドルA  
ドライバヘッド

07749-0010000

07946-MJ00200

### 注意

- ニードルベアリングは必ず刻印側を押して圧入する。
- ニードルベアリングは、スイングアーム端面から4 mmの深さに圧入すること。



# リヤホイール、サスペンション

下記の工具と油圧プレスを使用して、新品のボールベアリングをスイングアームに圧入する。

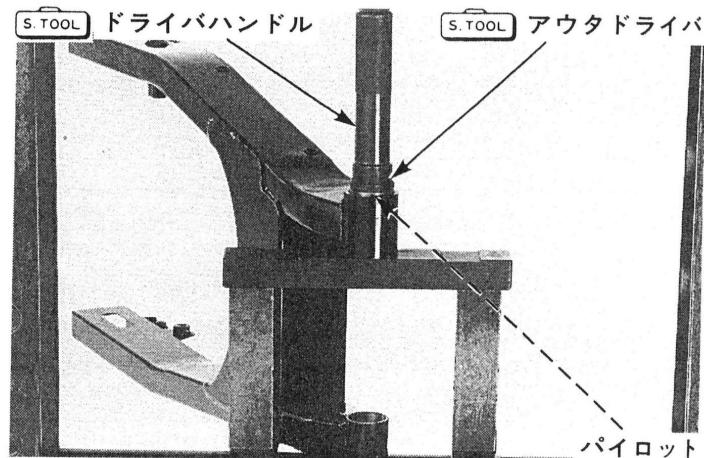
## 専用工具：

ドライバハンドルA  
アウタドライバ、32×35 mm  
パイロット、22 mm

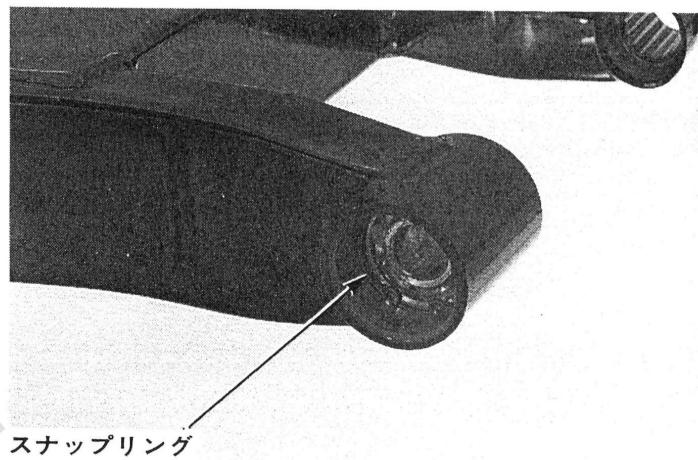
07749-0010000  
07746-0010100  
07746-0041000

## 注意

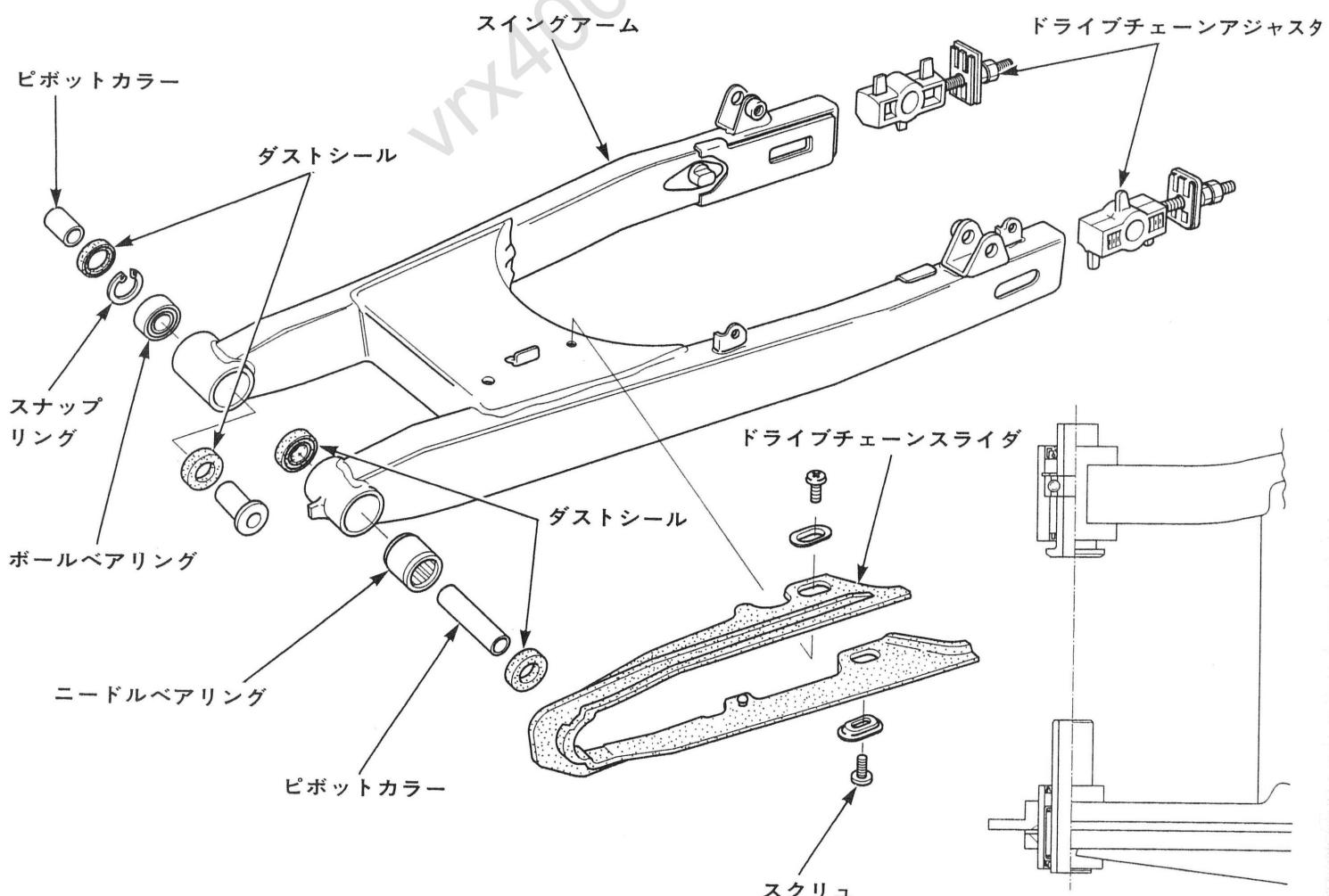
- ・ボールベアリングは必ず刻印側を押して圧入する。
- ・ボールベアリングは、突き当たるまで圧入する。



スナップリングをスイングアームの溝に確実に取り付ける。

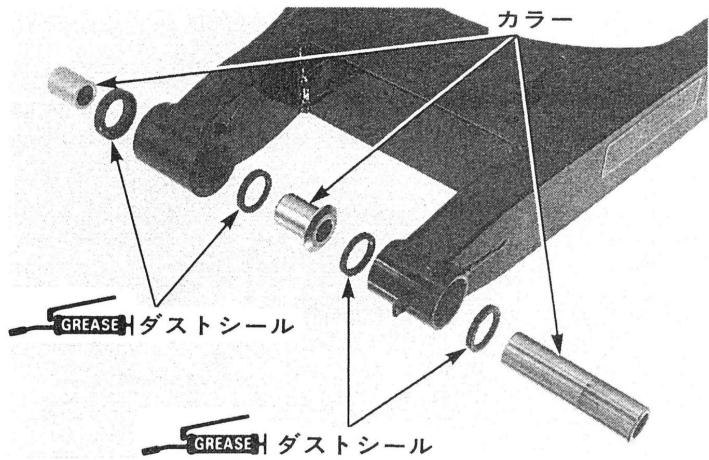


## 組み立て



ダストシールのリップ部にグリスを塗布して、スイングアームに取り付ける。

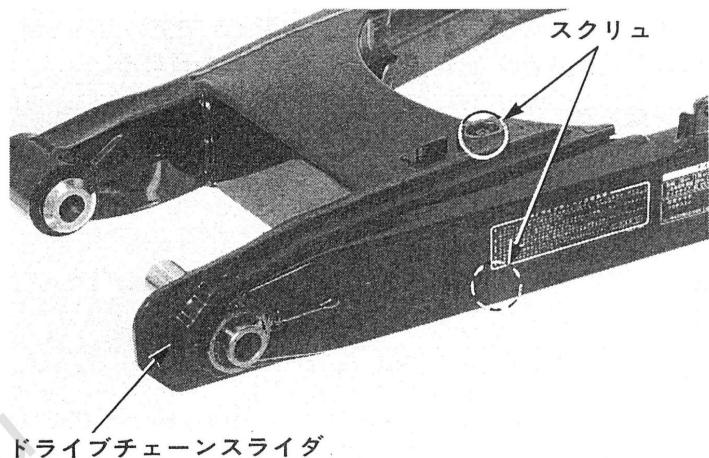
スイングアームピボットカラーを取り付ける。



チェーンスライダの穴とスイングアームの突起部を合わせ、  
チェーンスライダを取り付ける。

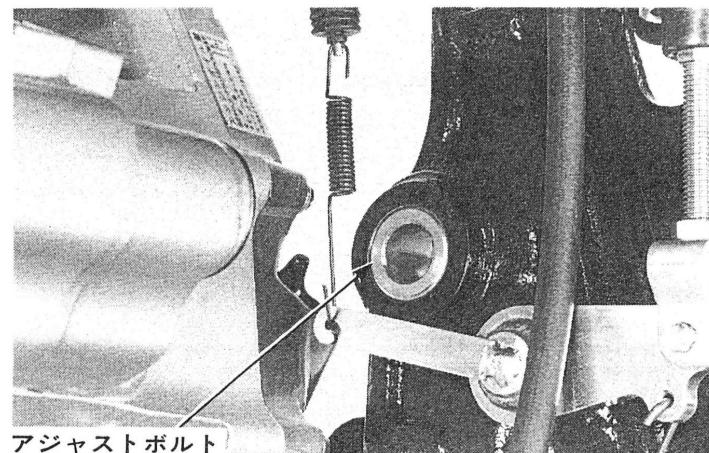
スライダスクリュを取り付け、締め付ける。

トルク : 2.5 N·m (0.25 kgf-m)



## 取り付け

アジャストボルトの先端がフレーム内側の面より出ない程度までねじ込む。

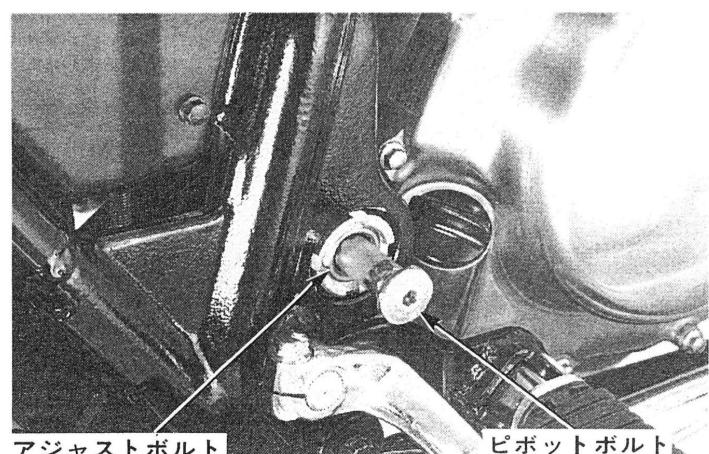


スイングアームピボットボルトの摺動部にグリスを薄く塗布する。

スイングアームを取り付け、スイングアームピボットボルトを取り付ける。

### 注意

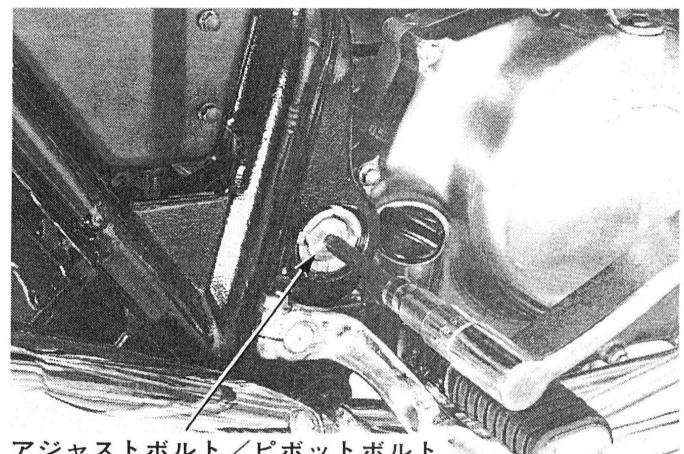
スイングアームピボットボルトとアジャストボルトの六角部を合わせて取り付けること。



# リヤホイール、サスペンション

スイングアームピボットボルト／アジャストボルトを締め付ける。

トルク：24 N・m (2.4 kgf-m)



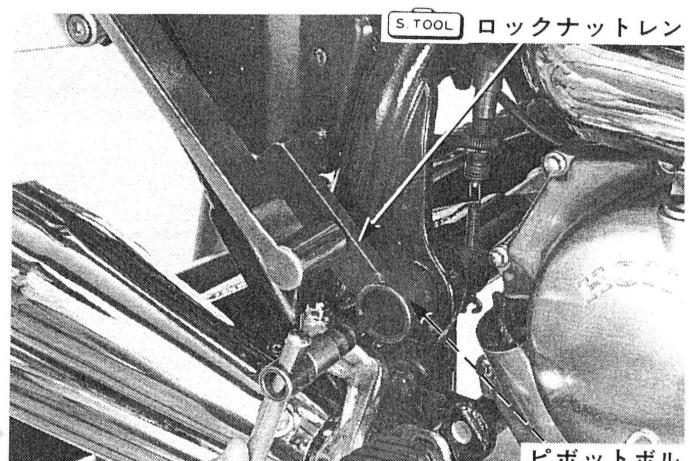
スイングアームピボットボルトをおさえ、下記の工具を使用して、アジャストボルトロックナットを締め付ける。

専用工具：

ロックナットレンチ

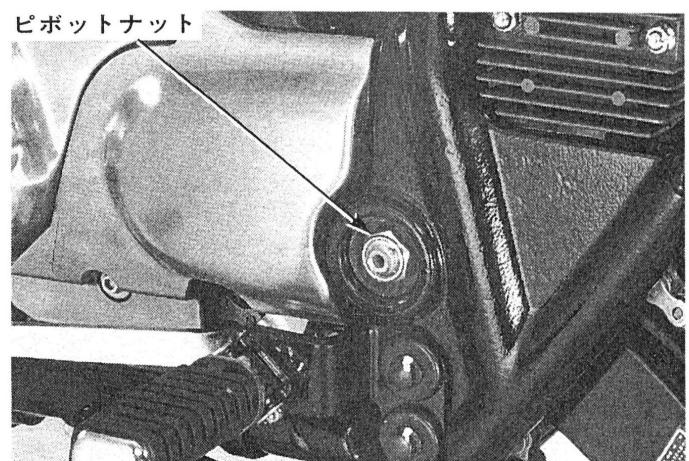
07GMA-KT70200

トルク：64 N・m (6.5 kgf-m)

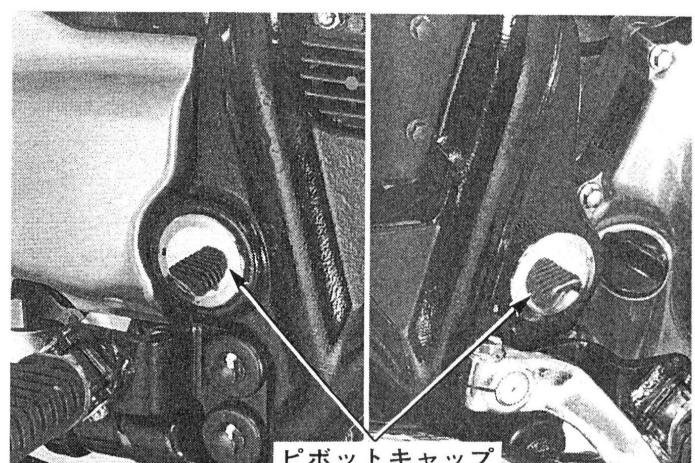


スイングアームピボットナットを取り付け、締め付ける。

トルク：88 N・m (9.0 kgf-m)



スイングアームピボットキャップを取り付ける。

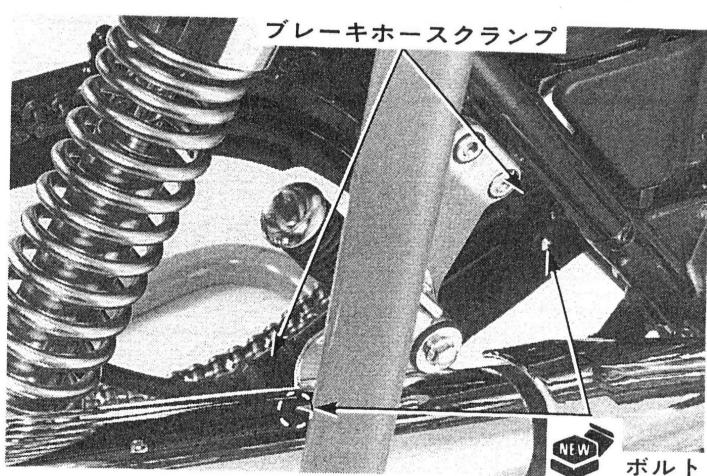


ブレーキホースをスイングアームに取り付け、新品のブレーキホースクランプボルトで締め付ける。

トルク：12 N・m (1.2 kgf-m)

以下の部品を取り付ける。

- −リヤクッション (⇒13-12)
- −リヤホイール (⇒13-10)



vrx400.ru